

レンジフード 取付説明書

※裏面は型紙（原寸大）になっておりますので
あわせてご利用ください。

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されているものは、それに基づき電気工事をおこなってください。

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをする生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- △警告**: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- △注意**: 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。（左図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。）
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。（右図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。）

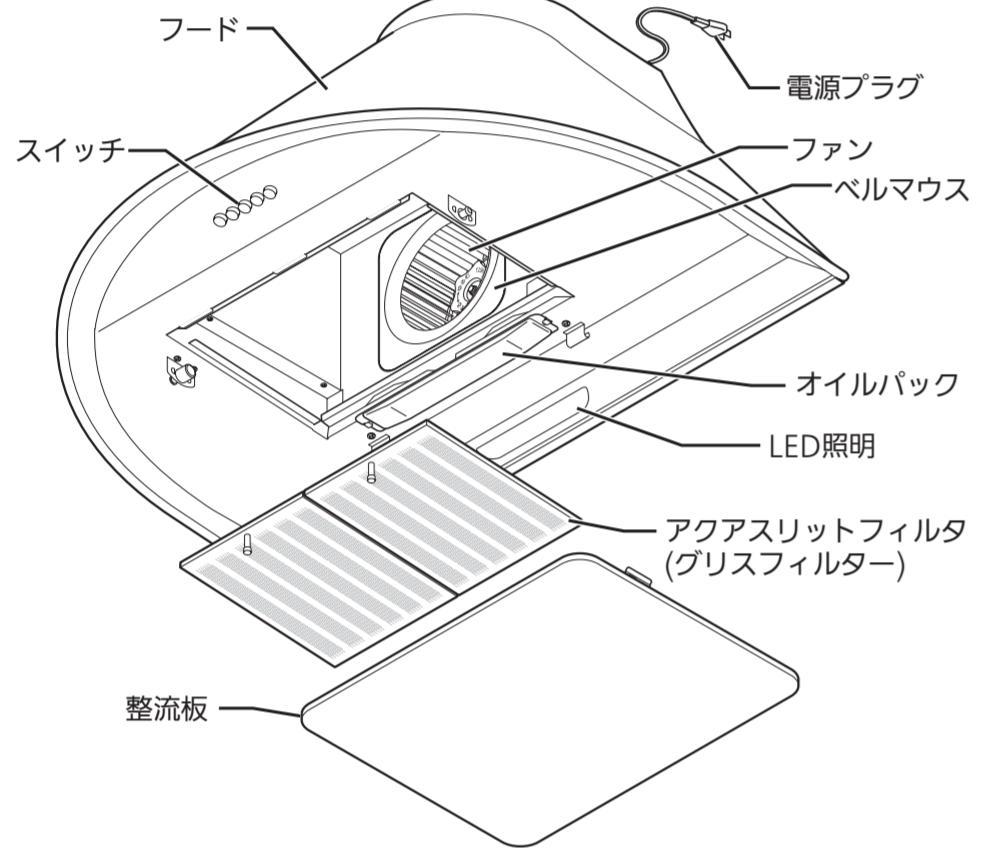
取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - ・大工事【設置のための下地工事等】
 - ・配管工事【コンセントの設置、コンセント・コネクターへの接続等】
 - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
 - ・ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣による認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指揮書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
- 調理機器はレンジフードの前面より手前には突出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の取付に取り付けるバンドキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m³/h時 50Pa以下のものを使用ください。
- 防雨網付きのものを目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

80cm以上

- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効率をいちじるしく低下せたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用座金ねじが確実に届くことを確認してください。
- 本体の取付用座金ねじは45mmの長さのものが同梱されていますが、壁面に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座金ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
- また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。
- なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上80cm以上になるようしてください。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³/min程度の空気吸入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露し、本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：1/100～1/50程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

各部のなまえ



付属品

- 座付ねじ（φ 5.1 × 45） 4本
本体の取り付けに使用します。
- 引掛ねじ（φ 5 × 35） 2本
本体の取り付けに使用します。
- 排気口 1個
本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。
- ソフトテープ 1本
排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使用します。

H寸法 (例売ダクトカバー使用時)	H寸法
DGG-280° 700-800	700-800
DGG-380° 800-1000	800-1000

注1 排気方向は上方・後方排気です。
(後方排気の場合は別売のL形ダクトを使用)
2 ダクトカバーは型名によって寸法が異なります(上表参照)。
※ 後方排気の場合、製品高さ700mm以上必要です。
3 ダクトカバー型名の「*」には色記号があります。

取り付け前の調査と準備

△警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- 自然排気型のストップバーを使用するときは、空気の吸入口（給気口）により十分給気を確保する配慮をすること
漏電がある場合、逆流し、一般化炎素中毒を起こすおそれがあります
- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります

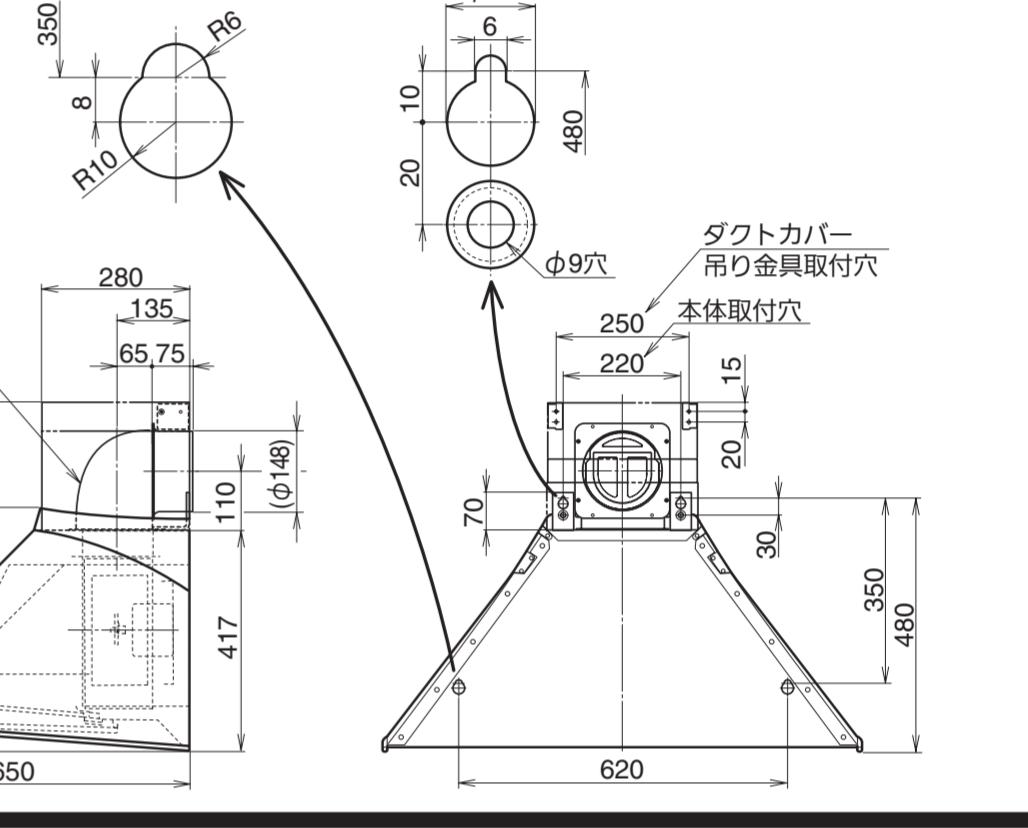
△注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板などが電気に接触しないように取り付けすること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 運送中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります
- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をするところ
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- 作業は2人以上でおこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

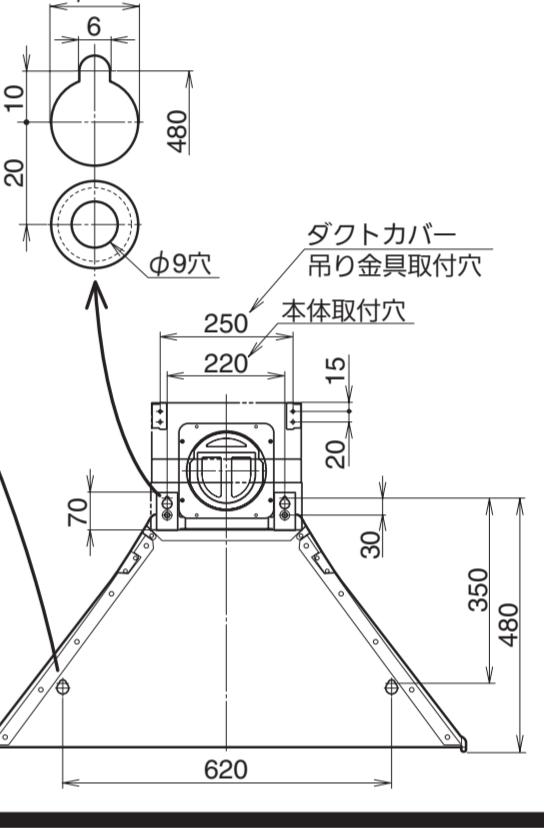
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下降下によりけがをするおそれがあります
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
浴室用換気扇をお使いください。
- 周囲温度が40°C以上になるとところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
- 運送中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下降下によりけがをするおそれがあります
- 作業は2人以上でおこなうこと
落下降下によりけがをするおそれがあります

製品寸法図

本体下部取付穴詳細



本体取付穴詳細



(単位:mm)

取り付けかた

1. 付属品の確認

△注意

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

付属品を確認します。

梱包箱から付属品を取り出し、上頂中央の付属品一箇より不足がないか確認します。

- お願い
 - 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
 - 保護用のクッション材と固定用テープはキズ・破損防止のため、「固定テープの取りはずし」まではずさないでください。(図1-1)
 - 床で作業する場合、本体および床にキズを付かないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

2. 排気方向の決定

△警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板などが電気に接触しないように取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

△注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因になります
- 周囲温度が40°C以上になるとところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります

1 製品取扱説明書を参考し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ排水の開口を依頼してください。（ダクトの風漏れ防止のため、ダクトの風漏れ防止のテープ工事ができるよう、壁面は大きめに開けてください。）また、コンセントの位置を確認してください。（6. 電気配線）

2 φ150のステンレスダクト、またはスピアラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突出すようにセットして、周囲を仕上げてください。（コンクリート、タイル、土壁の場合）

■上方排気の場合
■後方排気の場合
(別売品のL形ダクトを使用する場合)

3. 排気用部品の準備

※「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

■上方排気の場合

1) 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けてください。（図3-1）

2) 本体に付いている取付ねじ2本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けます。

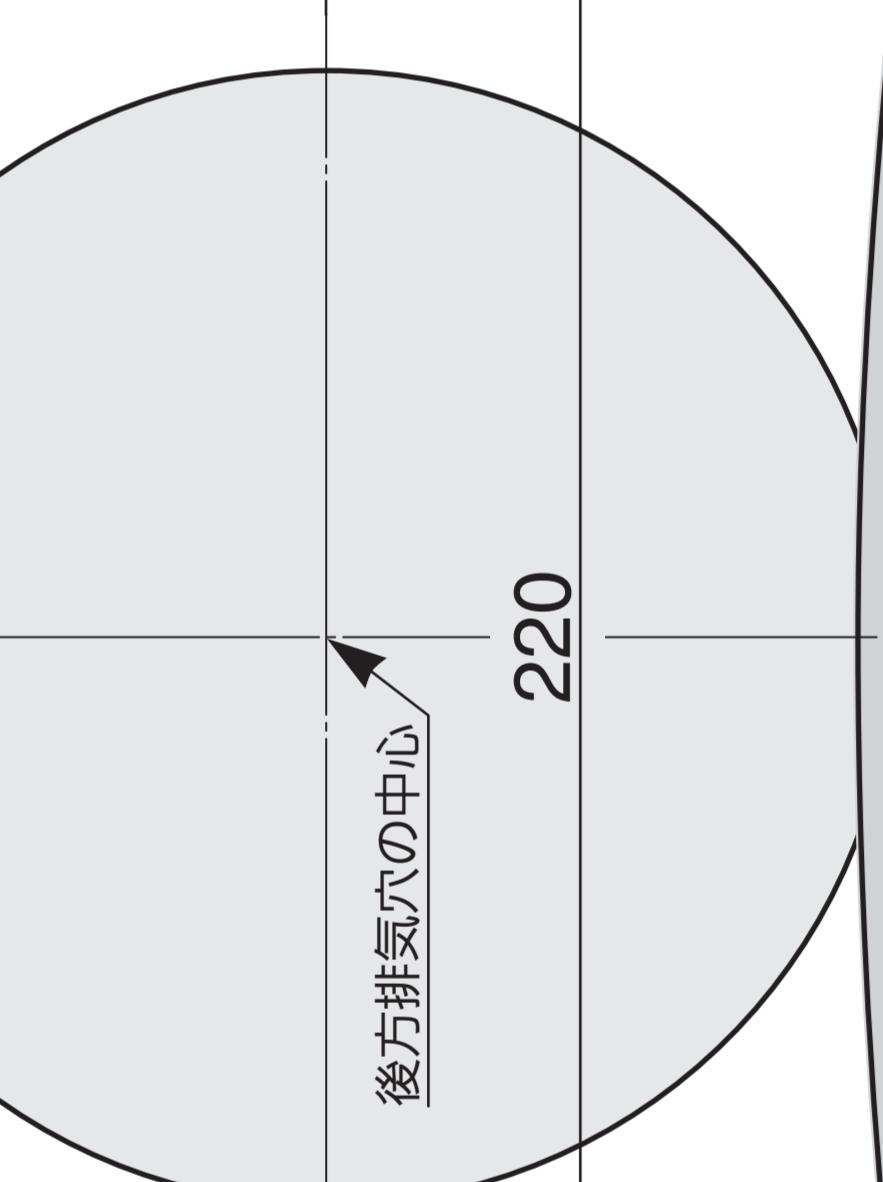
※ 取付け方向は右図を参照してください。

原寸大型紙

(寸法単位はmm)

お願い
この型紙は温氣の影響で2~3mm誤差が生することがあります。
寸法をお確かめの上ご使用ください。

**取扱説明書・取付説明書は必ず使用される
お客様にお渡しください。**
※ 表面は取付説明書になり正しく取り付けを
よくお読みみになります。
おこなってください。



本体取り付け用
ねじ位置 (Φ5.1×45)
本体取り付け用
ねじ位置 (Φ5.1×45)

220

110

30

後方排気穴の中心

本体取り付け用
ねじ位置 (Φ5.1×45)本体取り付け用
ねじ位置 (Φ5.1×45)

350

480

417

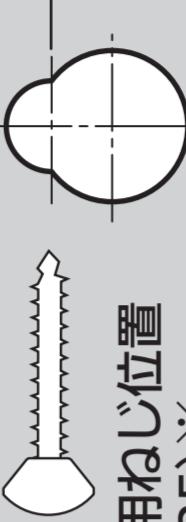
800
器具基準上部

製品の中心



引掛け用ねじ位置
(Φ5×35)※

※引掛けねじが壁に食い込まない程度
に締め付けてください。
引掛けねじの頭部が壁に食い込んで
しまうとフードが取付けかない
おそれがあります。



引掛け用ねじ位置
(Φ5×35)※

※引掛けねじが壁に食い込まない程度
に締め付けてください。
引掛けねじの頭部が壁に食い込んで
しまうとフードが取付けかない
おそれがあります。

620